

日本昔工

ばなし

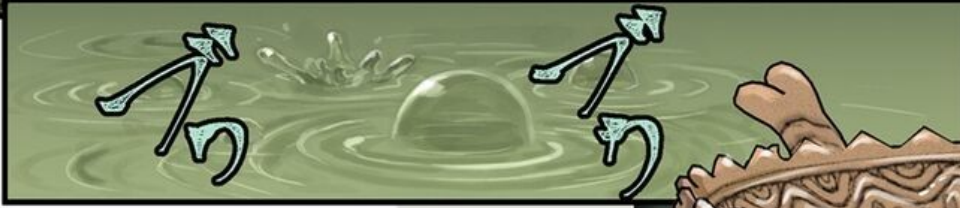


河童の  
雨乞い

池竜静留

成年  
コミック

むかしむかし  
森深くにある  
村の外れに  
小さな沼があった



ヒルコは  
子供や馬を水の中へ  
引きずり込んだりー



田畑を荒らして  
村人を困らせる  
厄介者だった



そこには一匹のメス河童

「ヒルコ」が住んでいたという

「アアアア」



ヒルコのイタズラに  
村人たちは困り果てていた



その時

あの  
もし



一人の僧侶が  
村を訪れた

何か  
お困りごと  
ですか？

ピッ  
カッ



その僧侶は旅をしながら  
人助けをしているという  
高らかな人物だった

天の助けと  
思った村人たちは  
さっそくヒルコを  
どうしたらいいか  
相談した



すると  
僧侶は村人に  
酒と肴の土産を  
用意させて

ヒルコとの  
対話を試みるために  
一人で暗い森の中へと  
入っていった

ピッ  
カッ

ほ、本当は  
仏様で  
ねえべか…



.....

ブク  
ブク



ピッカマ

なんか居るお



まあまあ  
そうおっしやらす  
酒は注ぐより  
注いでもらうのが  
味わい深いもの

うぐ……



酒だけ置いて  
さっさと失せろ！

どこの坊主か知らぬが  
夜中に煌々と反射しおって  
近所迷惑なんじゃけど！

ザッ  
バツ



貴女が  
ヒルコ殿ですね？  
今宵は月でも  
眺めながら  
一献いかがですか？

この一帯だけ  
昼なんじゃけど!?

こうして  
ヒルコは  
僧侶の誘いに  
乗っかってしまい――

あつという間に  
ご機嫌にされた

いやはや  
飲み明かして  
しまったなあ  
朝日が登って  
おるぞお

おやまあ  
これは  
まいった

カママ

ケラ

ケラ

初めて人間と  
肩を並べて話したが  
まこと愉快じゃのお

生まれ落ちて幾星霜  
これほど笑うたのは  
初めてじゃあ

いやいや  
ヒルコ殿の弁舌には  
かないませぬ  
それほどの嘶の名人  
ならば村人ともすぐに  
打ち解けるでしょうに

…いまさら  
無理じゃて

かつて我の沼に村人の先祖が  
よく釣りをしに来ていたのだが

話し相手欲しさ故に  
思い切って声をかけたら  
刀子とうすを投げつけられてな

鉄器で血を割られ  
神通力を失った  
今では沼の  
穢れすまけも払えぬ  
この体たらくよ



本当はこの澱みで  
独りきりなのが  
とても寂しいのじゃ…

されど  
村人たちには  
悪童のように  
振る舞わねば  
関われない…



けははっ

大杯を  
戴いてるクセに  
なんとも器が  
小さきこと！

せせこましい  
嫌がらせを続けていたら  
引くに引けなくなつて  
しまったのじゃ

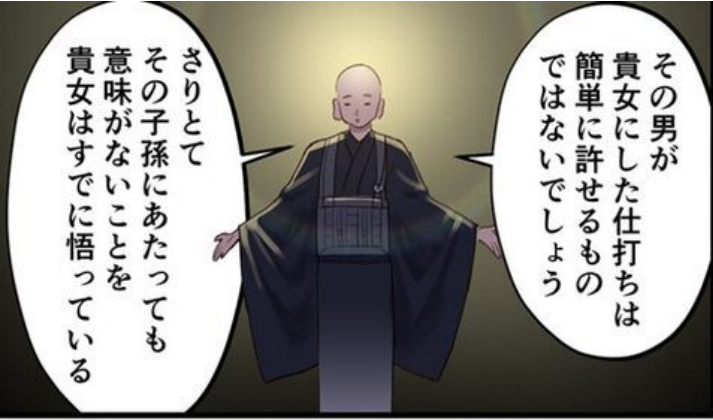
それ故に男を恨み  
その子孫も  
罪有りきと



事情はよく  
わかりました

スワ

なれば  
こそです



僧侶が村を去ったその日を境に、ヒルコは悪さをしなくなった



僧侶から  
ヒルヨの  
身の上を聞いた  
村人たちもまた

お返しを  
するようになった



それどころかヒルヨは  
森の入り口に贈り物を  
置くようになったり—



しかし  
それも長くは  
続かなかつた



その年の夏は  
厳しい日照りが  
一月以上続き—

村の畑は甚大な被害を  
うけてしまったのだ



言葉は交わさずとも  
お互いに歩み寄り始め

ヒルヨの心は幸福感で  
満たされていった

追い詰められた村人たちは「神交祭」という雨乞いの儀式を決行した

この儀式は神に仕える巫女と性交することで神と直接交流するというものだった



※歩き巫女・遊行婦女

歩き巫女とは、神社に属さず全国を遍歴して生計を立てていた巫女の総称。遊行婦女とは、前述の歩き巫女が奈良時代頃に神性・司祭性を失いはじめたために歌舞や売春で生計を立てるようになった遊女の先駆け。「うかれめ」とも言う。

しかしこの儀式は歩き巫女を騙る遊行婦女がもたらした単なる出まかせで――

もうあんたにんしてさっかん

この女性たちも巫女に見立てただけの普通の村娘たちだった……



ぱんぱん

わ、我にも手伝わせてくれ！



いくらまぐわえど雨が降るはずもなく

村の男衆が諦めはじめていた

その時だった

おい

もう……出たよ……



ほ、本当にいいんだべか？



このままでは  
まわ  
輪姦され続けとる  
おなご  
女子たちの  
体が保たん

我にはかつて  
水を操る神通力も  
あった故  
常人よりは  
儀式の効果を  
得られる  
かもしれんしの



だけどこんな大勢を  
生娘が独りで相手に  
するなんて無茶だべ！

おめえのおメコ  
こんなちっこいし  
裂けちまうだよ！

わ、我はもう  
覚悟できて  
おる！

妖怪はその程度で  
死んだりせんから  
心配無用じゃ！

それにツ



お主らが我を救し  
受け入れてくれたのが  
誠に嬉しかったから…  
その…

今までの侘びと  
恩返しをさせて  
ほしい…のじゃ

カアア

け、健気!!!  
マラに効くツ

じーん











こここれが  
破瓜の痛み…  
体を裂かれるような  
痛みじゃ…ッ!!

んギン  
ギン



パン  
パン  
パン

ッ  
ッ  
ッ



な、なんじゃコレ!?  
マラから陽の気が  
流れてきて

あッ  
あえ!?!



ズ  
ズ  
ズ

き、キツイ…!  
今までの  
生娘で一番の  
締めりだべ!



中で暴れてる!!?

キモチイイ  
快樂が

うまうま!?!

んんん!?!

ガ  
ク

ビ  
ュ

ポ

コ  
ッ

ガ  
ク

ル  
ル  
ッ



あ、あんまり締まるから挿入しただけで射精ちまっただ……

ヒッ♡

プル

ヒッ♡

プル

痛みは吹き飛んだが……これ……ヤバい……♡



だどもなんて名器じゃ！

ちっこい体なのにオラのマラが根本まで挿入っちゃうなんて

射精したばかりなのにぜんぜん萎えんわい！

ズルルル

ズプププ

ズルルル

んおあい♡

ヒッ♡

あはあ♡



こ、こんな  
具合が良えと  
腰がいうこと  
きかねえ!!

おははははは



は、腹が裂けるッ

挿入っちやダメな  
ところまでマラが  
来てるのがわかるッ

ムチウカ

おははははは



こしえッ

おははははは  
おははははは

おははは

おははは



子宮を  
小突かれる  
たびに  
丹田が  
熱くなるう



こんなの  
病みつきになって  
もっともっと  
愛でてほしくなって  
しまうのじゃあ♡



ゴクッ

ムン

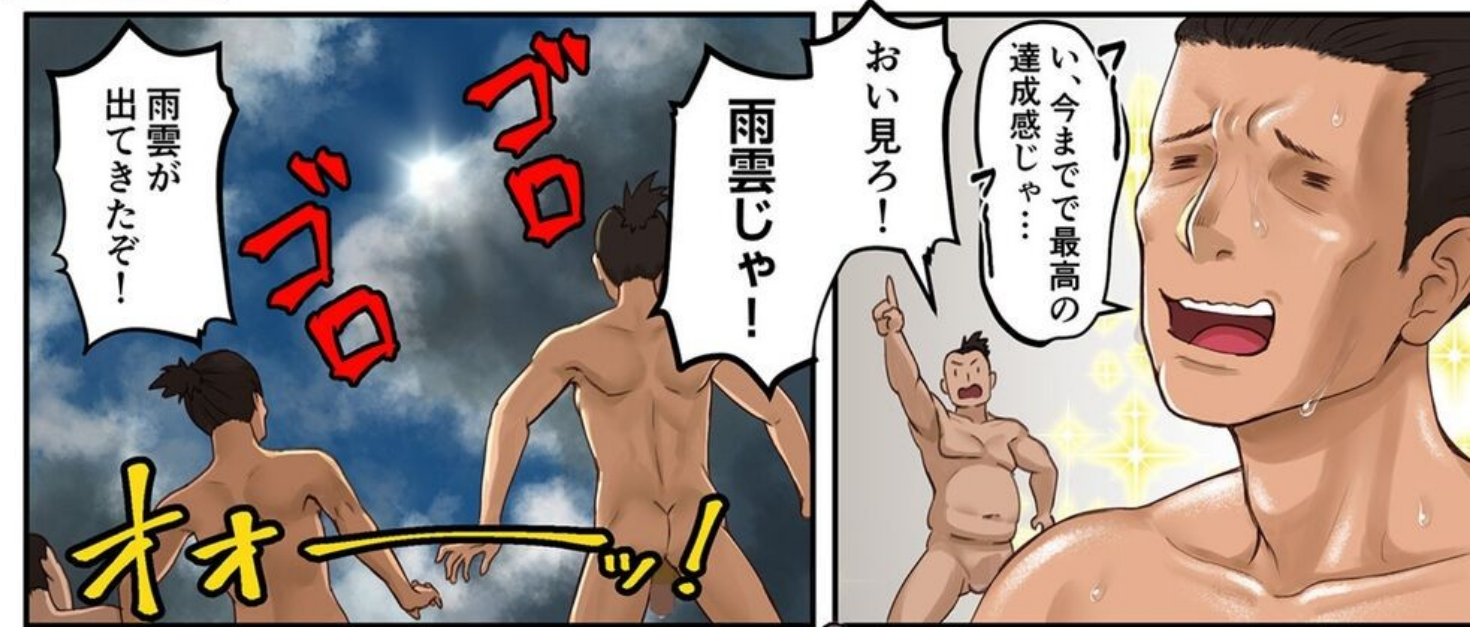




いびき♡♡♡

びびきやびびきや  
びびきやびびきや

びびきやびびきや





ま、まだ  
雲が出た程度じゃ

田畑を潤すには  
もっともーつと  
儀式せんとな♡

ハァ♡

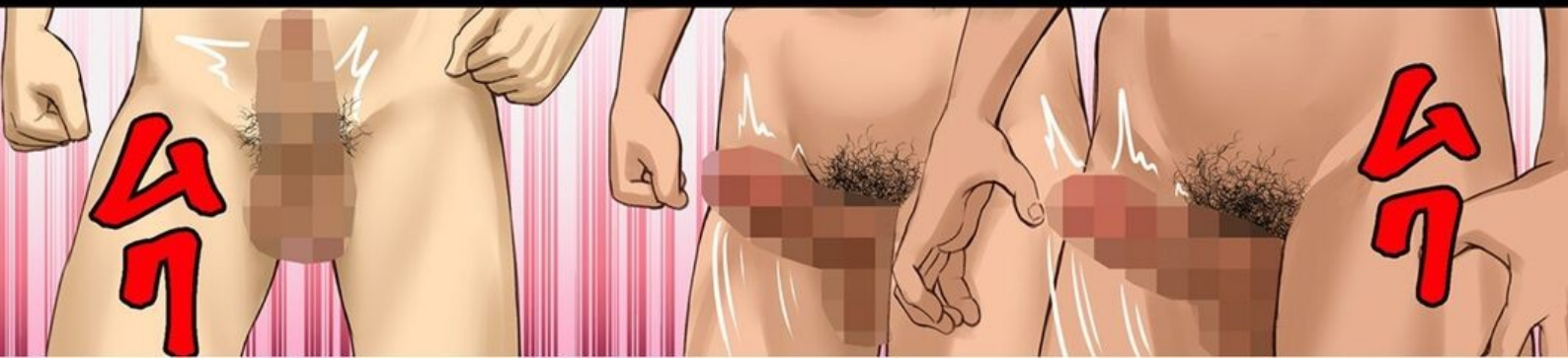
ハァ♡

ヌキ♡



きつと  
大雨になるぞ♡

我を孕ませるほど  
なかに  
膣内に出せば



ムワ

ムワ

それはそれは  
すさまじい  
光景だった

欲望の夕ガが外れた  
ヒルコと村人たちは  
昼夜問わず乱交し続けー

中出しされて昂る  
ヒルコに呼応すように  
雨は強さを増した





そして  
3日目の朝

最後の精液が吐き出され  
ようやく儀式は幕を閉じた



こ、これだけ  
降れば十分じゃ…  
もうワシら  
粉も出ん…

我も…  
満足じゃ…



皆と…なかよく  
なれ…て…  
しあ…わ…

こうしてヒルコは  
河童としての生を終えた…

幾度目かの夏

僧侶は再び  
あの村へと続く  
道を歩んでいた



僧侶は旅の最中で  
さまざまなもの  
を見聞きしてきた

ピカ

そして河童にまつわる  
各地の逸話を聞いて  
河童とは水神が  
零落した姿だと識り

古事記において  
最初に生まれた神  
「水蛭子」<sup>みずひるこ</sup>を祀る神社の多くが  
その姿を模したとされる  
土偶を祀っている事を識った



河童型土偶：主に北陸地方に分布する縄文時代中期に作られたとされる器状の頭をもつ土偶。  
新潟県の長者ヶ原遺跡で出土したものが有名。

河童のヒルコの正体

日本各地に  
分霊体<sup>きょうだい</sup>がいたこと

この話を聞けば  
彼女はたいそう  
驚くだろうと  
思いながら、村を  
一望できる場所に  
至った時――

カキキキ



僧侶はたいそう驚いた





母上様！  
私も！  
私も父上様たちと  
豊穣祈願したあい♡

はあん♡

イワ♡

だめだよ！  
次は私の番  
だもん！

フツ♡  
可愛♡  
ヒルコ様お  
愛しませう！！

ポポポポ  
ルルル



これこれ  
今日は我だけの  
日じゃぞ？  
お腹の子らに陽気を  
たくさん与えねば  
ならんからの♡

えー！  
ズルーい！！

♡  
村人たちの陽の気で  
水神として  
生まれ変わったヒルコは

♡  
娘たちと共に敬い愛され  
幸せに暮らしてましたとさ


めでたしめでたし

日本昔エロばなし「河童の雨なご」／おわり

---

# 日本昔エロばなし(2) 『河童の雨乞い』

著者 池竜静留

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

---